コード	402070801
記入日	H23.6.6

作成年度	平成 **23** 年度

事務事業途中評価表

課ｺｰﾄﾞ	115
課　名	農林課
課長名	幹　保孝
担当者	深浦　勝彦

評価対象事業名称	林道鬼ヶ原線改良事業

事業種類	継続事業
事業期間	平成　19　年度　～　平成　48　年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策ｺｰﾄﾞ	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款ｺｰﾄﾞ	6
施策ｺｰﾄﾞ	402	施策名称	農林業の振興	項ｺｰﾄﾞ	2
基本事業ｺｰﾄﾞ	40207	基本事業名称	林業の環境整備	目ｺｰﾄﾞ	3
事務事業ｺｰﾄﾞ	4020708	事務事業名称	単独事業費（林道舗装）	細目ｺｰﾄﾞ	1031
関連計画		法令・条例規則等	森林法、長崎県林道事業補助金交付要綱		

計画（PLAN）

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか

（対象1）　森林所有者

（対象2）　地区住民

対象指標：対象の大きさを表す指標

（対象指標1）　246人

（対象指標2）　143人

事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入

（全体）	（評価年度実績）
（全体計画） ・ 改良延長　L=9,000m ・ 舗装幅員　W=3.6（4.0）m	（平成22年度） ・ 改良延長　L=428m ・ 舗装幅員　W=3.6（4.0）m

活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）

	（指標名称）	（指標数値）	（達成率）	（達成率積算根拠）	（目標達成年度）
①	改良延長	2,463m	27.6%	改良延長÷計画した改良延長	平成48年度
	改良延長	428m	100%		平成22年度
	（達成率分析）	ほぼ計画どおりに進捗している。			
②					
	（達成率分析）				

目的：何をしたいのか

・ 本路線は、県道日島猿浦線と若松港臨港道路から西神ノ浦・大平地区へつながる唯一の道路であり、住民にとって生活道として利用されている重要な道路でもある。幅員が狭く離合もままならないため、車両交通の安全が確保できない状況である。このような状況を改善するため道路の改良事業を実施し、安全性の向上を図るものである。

成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）

	（指標名称）	（指標数値）	（達成率）	（達成率積算根拠）	（目標達成年度）
①	進捗率	72,651千円	20.0%	直接事業費÷計画事業費	平成48年度
	進捗率	14,066千円	100%		平成22年度
	（達成率分析）	ほぼ計画どおり進捗している。			
②					
	（達成率分析）				

実施（DO）

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

		単位	全体計画		21年度以前	22年度		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度以降
			計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	①	m	9,000	2,463	2,035	428	428	1,450	1,450	600	600	3,287
	②											
成果指標	①	千円	364,057	72,651	58,683	14,066	13,968	52,765	22,265	22,265	22,265	171,748
	②											
総事業費 C (A+B)		千円	469,057	86,651	69,183	17,566	17,468	56,265	25,765	25,765	25,765	248,748
直接事業費 A		千円	364,057	72,651	58,683	14,066	13,968	52,765	22,265	22,265	22,265	171,748
人件費 B		千円	105,000	14,000	10,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	77,000
内訳	従事職員数	人	15.0	2.0	1.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	11.0
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円										
	県補助金	千円	236,084	62,186	52,686	9,500	9,500	37,310	9,500	9,500	9,500	108,088
	起債	千円	114,400	5,600	5,600			12,100	12,100	12,100	12,100	60,400
	その他	千円										
	一般財源	千円	118,573	18,865	10,897	8,066	7,968	6,855	4,165	4,165	4,165	80,260

コード	402070801

評価

※理由の欄は必ず記載すること。

	項目	評価		理由
妥当性	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	● ある ない	理由	林道管理者である町が行うべきである。
	・時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	● ある ない	理由	林道の安全性及び利便性の向上を図るためには必要である。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	● 適切 不適切	理由	林道利用者の利便性、安全性の確保であり適切である。
有効性	・現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理由	改良済区間においては、車両通行の安全が図られている。
	・成果を向上させる余地はありますか。	ある ● ない	理由	本事業は計画どおりに進んでいるため向上させる余地がない。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	● ある ない	理由	林道の安全性と利便性の確保ができない。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	できる ● できない	理由	単一の事業であり他の事業との整理統合はできない。
効率性	・直接事業費を削減することはできませんか。	できる ● できない	理由	最小の経費で最大の効果を得る設計となっているためできない。
	・人件費を削減することはできませんか。	できる ● できない	理由	最小の人員で事業を推進しているためできない。
	・受益者負担は適正ですか。	● はい いいえ	理由	林道管理者が行うべきもので受益者負担は発生しない。

改善

改善策	1次評価	妥当性	現在のところ、計画を見直す必要はない。
		有効性	事業実施済み区間では、車両通行の安全が図られている。
		効率性	現在のところ、計画を見直す必要はない。
		課題に向けた改善策	特になし。
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり
		有効性	1次評価のとおり
		効率性	1次評価のとおり

住民等の意見	
町 の 対 応	

今後の事業の方向性

1次	2次	3次		1次	2次	3次	
●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
			事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
			事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。